

コドモのホンネ、引きだしちゃいます



使う紙芝居はこんなに大きい!

青 少年すこやか育成事業のひとつとして実施している、オリジナル紙芝居を使った道德のモデル授業。平成28年度は、青森県や埼玉県、三重県、広島県といった初実施地域を含む全国6か所で、『まつりのひ』を用いて授業を行いました。

実施校の多くは紙芝居を使った授業が初めて。ある学校では、教室に入る職員の手元にある大きな舞台上に子どもたちは釘づけ。見つめる瞳はキラキラと輝き、この日を楽しみに待っていた様子が伝わってきました。

授 業が始まると、それまでワクワク、ソワソワしていたのがウソのように、教室はシーンと静まり返り、子どもたちは前のめりになったまま身じろぎもせず夢中で紙芝居を見ていました。聞き手の反応を受け止めて読み進める紙芝居だからこそ、いつも以上に集中できるのかもしれない。

そして、講師の馬場喜久雄先生からの質問にも、みんな元気に答えます。

「このとき、コタローは焦っていたと思う」「難しいかもしれないけれど、みんなで一緒にやりたい」。場面ごとに、いろんな気持ちを教えてくれました。

物 語の世界に入り込んでいるので、無意識に主人公と同化するのでしょうか、主人公に成り代わって話す姿に、担任の先生もびっくり。こんなことを考えているのか……と、子どもたちの新しい一面も見えたようです。

紙芝居は読み聞かせをするもの、と思われがちですが、実際に授業を行うと、学校の教材としても活用できることがよく分かります。

こ れまでたくさんの学校で授業を行いました。どの学校の先生方もおっしゃるのは、「子どもたちのいつもと違う一面が見れた」「あまりの集中力に驚いた」という声。毎日子どもたちを見ている先生も気づかなかったものを引きだせるのは、まさに紙芝居の魅力といったところでしょう。

「小さな親切」運動のオリジナル紙芝居は、どれも子どもたちの実体験や実際にあったことをもとに作製しています。だからこそ、聞き手は主人公になった気持ちで物語を感じることができるのです。

みなさんも、紙芝居で子どもたちの本音を引きだしてみませんか?



担任の先生

いつもは発言が少ない子どもも積極的に意見を出して驚いた。これが紙芝居の力なのかも。ひとつの作品で、全学年の授業ができるのもうれしい!

無料提供中!※ オリジナル紙芝居を使ってみませんか?

中央本部オリジナル紙芝居を活用してみませんか? 作文コンクール入賞作品や東日本大震災の被災地取材をもとに作った紙芝居は、子どもが感情移入しやすいと大好評! 読み聞かせはもちろん、授業の教材としてもオススメです。ただいま、本体価格は無料*で提供中。この機会にぜひ、ご利用ください!!

お申し込みは電話またはFAX、メールから。

※別途、送料のみ実費でご負担いただきます

お問い合わせ先

紙芝居担当: 五味
TEL: 03-3263-2866 FAX: 03-3263-3838
メール: skm1963@kindness.jp



文部科学省
選定作品

『まつりのひ』

『つなみのひ』から4年後。村祭りを通して、主人公たちが支えあい成長していく姿を描きます。乗り越えられない困難なんてない、そんな気持ちを感じてください。対象: 小学校全学年

『だいにたまご』

友だちがぶつかってきて、楽しみにしてたチャボの卵が割れちゃった! そのとき、たつくんが思ったことは……。対象: 小学校低学年



このほかにもいろいろな作品があります。詳しくは www.kindness.jp へ!